

第12節 人と自然との触れ合いの活動の場

1. 調査内容

調査内容は、表 9-12-1 に示すとおりとした。

表 9-12-1 人と自然との触れ合い活動の場に係る調査内容

調査内容	調査方法
主要な人と自然との触れ合い活動の場の状況 利用状況 利用環境の状況	現地調査 既存資料調査

2. 調査手法

(1) 調査地域

調査地域は、概況把握区域の全域とした。

(2) 調査方法

現地調査は、表 9-12-2 に示す方法により実施した。

表 9-12-2 人と自然との触れ合い活動の場の調査方法の概要

調査方法	調査方法の概要
現地調査	現地踏査、聞き取り調査及び写真撮影等により、人と自然との触れ合い活動の場の状況を記録した。

(3) 調査時期

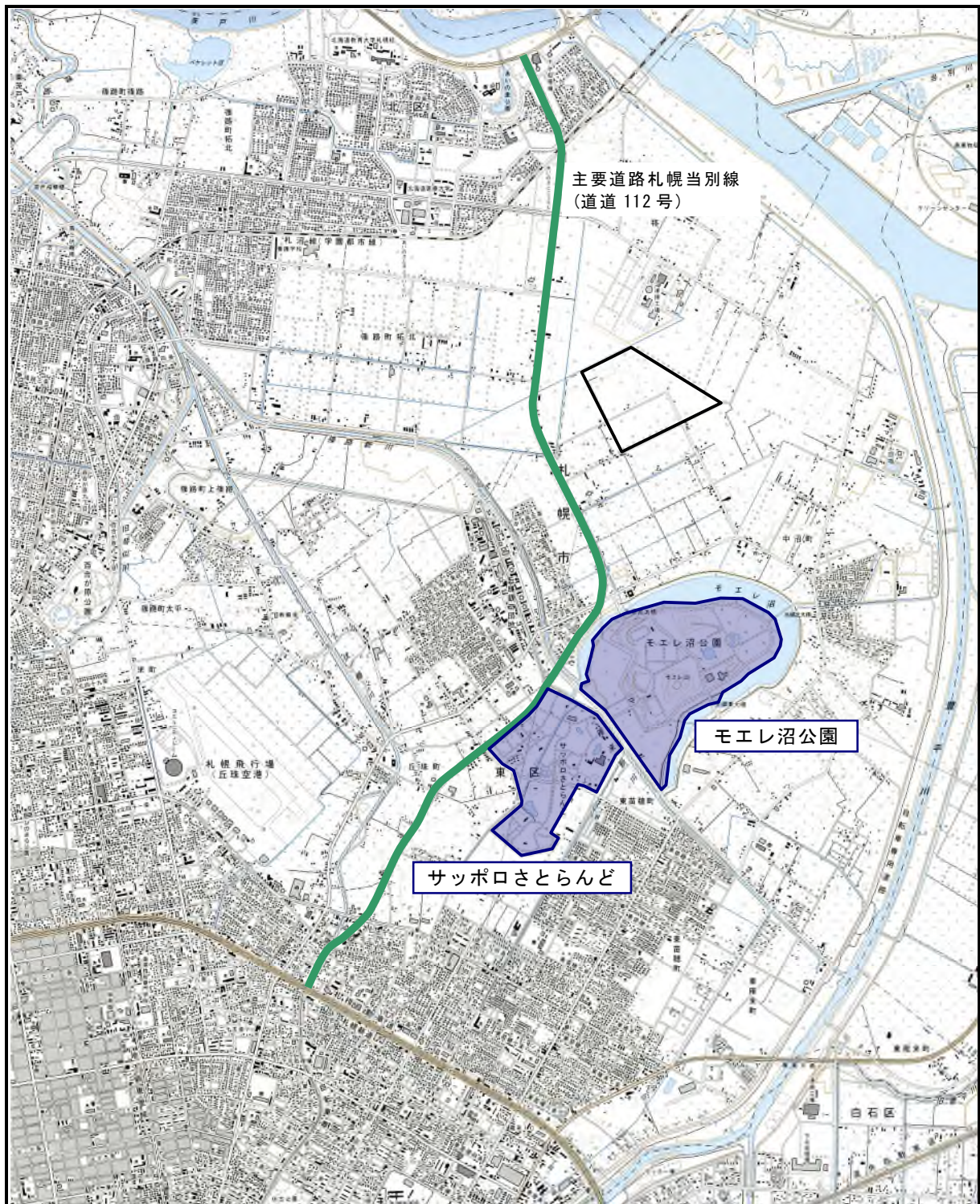
調査時期は、表 9-12-3 に示すとおりである。

表 9-12-3 人と自然との触れ合い活動の場の調査時期




調査方法	調査方法の概要
現地調査	平成 19 年 10 月 28 日(日)
	平成 20 年 2 月 2 日(土)、3 日(日)、11 日(月祝)
	5 月 3(土祝)、16 日(金)
	7 月 20 日(日)
	8 月 26 日(火)
聞き取り調査	平成 25 年 8 月 29 日(木)

(4) 調査地点

調査地は、図 9-12-1 に示すとおり、モエレ沼公園とサッポロさとらんどとした。



凡 例

-  人と自然との触れ合い活動の場
-  事業実施区域
-  主要道路札幌当別線 (道道 112 号)

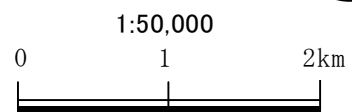


図 9-12-1
人と自然との触れ合い
活動の場位置図

3. 調査結果

モエレ沼公園及びサッポロさとらんの概況及び利用状況等は表 9-12-4～表 9-12-8 に示すとおりである。

表 9-12-4 人と自然との触れ合い活動の場の状況(モエレ沼公園) (1/2)

名称	モエレ沼公園
概況	・「札幌市環状グリーンベルト」構想の北部系緑地の核となる都市公園として、彫刻家イサム・ノグチの設計により、平成 17 年にゴミ処理場跡地に造成された公園である。
分布状況	・札幌市中心部から北東に約 9km の場所にあり、事業実施区域からは南に約 2km の場所に位置する。 ・公園区域は、内陸部分は約 100ha あり、周りを取り囲んでいるモエレ沼を合わせると 189ha になる。
利用環境の状況	・通年開園されている。開園時間は 5:00～22:00。入場料、駐車料は無料。 ・約 3,000 本のサクラが植えられている「サクラの森」や親水広場として「モエレビーチ」や「アクアプラザ」、札幌市内を見渡すことができる「モエレ山」等がある。 ・案内所やレストラン、展示場として「ガラスのピラミッド」がある。 ・スポーツ施設としてテニスコートや陸上競技場があり、園内散策用として自転車の貸し出しも行われている。 ・平成 17 年度にグラウンドオープンし、入場者数が増加した。
利用状況	・年間約 80 万人が利用している(表 7-12-5)。 ・利用者数は 5～9 月が多く、8 月が最も多い(図 7-12-3 参照)。 ・札幌近郊からの家族連れやカップルの来園者が多く、近年は道外や海外からの客も増えている。 ・2011 年の東日本大震災の影響で 2 年前は減少したが、現在までに徐々に回復してきている。 ・夏はピクニックや魚釣り、冬はスキーやソリで楽しまれている。また、モエレ夏祭り(花火)、マラソン大会、ママチャリレース等多くのイベント会場としても利用されている。
主なアクセスルート	・札幌市内より主要道路札幌当別線(道道 112 号) ・駐車場は 4 ヶ所あり、合計で一般車 1,500 台、バス 12 台を収容できる。 ・メインの入口が東側のため、三角点通から来園する人が多い。 ・自家用車で来園する人が多い。団体客は、大型バスで来園する。
事業による影響についての聞き取り結果	・事業により、ダンプの往来が多くなり、東口の交通が混雑する可能性がある。ただし、来園者が多いのは週末であり、あまり大きな影響はないのではないかと思われる。 ・海を臨む方向に処理場が建設されることになるが、篠路清掃工場の煙突より低いのであれば、モエレ山等高所からの景観には大きな変化はないと思われる。

表 9-12-4 人と自然との触れ合い活動の場の状況(モエレ沼公園) (2/2)

名称	モエレ沼公園
	
芝生広場でピクニックを楽しむ風景(5月)	親水広場で楽しむ風景(7月)
	
モエレ沼でフナ釣りを楽しむ風景(10月)	モエレ山でソリ遊びを楽しむ風景(2月)

表 9-12-5 月別来園者数の経年変化(モエレ沼公園)

(単位:人)

月	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
4	8,958	6,437	0	33,588	22,850	27,450	18,890
5	48,352	46,131	51,201	32,411	35,000	66,770	106,200
6	31,920	33,903	31,947	32,148	48,000	60,000	69,120
7	76,109	53,638	46,668	37,287	127,500	54,450	151,600
8	75,346	73,730	55,612	40,899	148,600	58,830	146,100
9	37,547	21,640	28,804	33,847	93,635	64,687	89,100
10	23,696	18,243	14,841	16,406	31,650	32,290	54,800
11	0	2,979	7,202	2,563	20,900	31,587	31,000
12	436	1,493	1,315	780	7,400	7,650	14,380
1	1,633	1,754	2,476	2,309	6,060	10,491	12,600
2	1,422	1,296	2,056	2,250	5,365	6,846	9,150
3	1,150	1,408	1,881	2,095	4,286	5,972	5,470
計	306,568	262,650	244,003	236,582	551,246	427,023	708,410
備考	冬季利用				ガラビ開館		グランドオープン

月	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
4	24,080	50,040	47,900	44,220	26,740	27,530	32,640	25,460
5	120,970	106,940	86,220	108,445	110,730	56,540	68,840	106,190
6	96,130	111,600	94,420	90,530	117,878	71,880	81,500	107,810
7	175,670	119,180	131,410	119,600	94,017	74,100	101,910	114,110
8	177,230	142,800	163,060	173,240	168,702	170,270	143,350	94,430
9	108,450	109,750	131,710	148,700	122,624	116,780	104,090	84,830
10	50,480	56,400	71,010	61,740	63,102	53,920	67,140	56,040
11	21,160	21,200	22,140	20,480	21,740	21,860	32,650	47,410
12	8,100	9,300	9,100	10,300	10,152	12,330	12,860	11,590
1	16,280	16,900	17,660	17,660	19,061	29,260	29,220	
2	24,500	20,500	24,150	18,040	24,088	20,380	20,310	
3	8,300	13,600	15,050	16,425	13,860	11,200	10,430	
計	831,350	778,210	813,820	829,380	792,694	666,050	704,940	

※平成25年8月のヒアリング調査以降、最新データを入手。

表 9-12-6 人と自然との触れ合い活動の場の状況(サッポロさとらんど) (1/2)

名称	サッポロさとらんど
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・都市型農業を総合的に支援する施設であり、農園、牧場、炊事広場等があり、農作物の収穫体験やバター、アイスクリーム等の手作り体験ができる。 ・平成20年までは、冬季は札幌雪まつりの会場にもなっていた。
分布状況	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市中心部から北東に約8kmの場所にあり、事業実施区域からは南南西に約3kmの場所に位置する。 ・敷地面積は約74haあり、市民開放部分は約63haになる。
利用環境の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・通年開園されているが、冬季(11/4～4/28)は月曜日と年末年始は休業している。開園時間は9:00～18:00。入場料・駐車料は無料。 ・野菜の収穫体験ができる「ふれあい農園」やヤギやヒツジと触れ合える「ふれあい牧場」、バターやアイスクリーム等の手作り体験ができる「さとらんどセンター」がある。 ・市民が自由に利用できる炊事広場や遊具施設、パークゴルフ場(有料)がある。 ・園内を周回するSLバスや周遊馬車、レンタルサイクルがある(いずれも有料)。
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・年間約60万人が利用している(表7-12-7)。 ・利用者数は5月(ゴールデンウィーク)と9月(収穫祭)に最も多くなる(表7-12-8)。 ・8月の夏祭りにも多くの利用者が訪れる。 ・農業体験に訪れる客が多く、ふれあい牧場でヤギやヒツジと触れ合ったり、炊事広場でバーベキューを楽しむ家族連れも多い。 ・5～6月は学校の遠足先としても利用されている。
主なアクセスルート	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市内より主要道路札幌当別線(道道112号)を利用して来園する人が多い。 ・バスであれば、苗穂丘珠通を利用して来園する。 ・駐車場は合計で一般車1,800台を収容できる。 ・自家用車で来園する人が多い。公共交通機関は、バスのみ。
事業による影響についての聞き取り結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業による交通面での影響はないのではないかと思われる。南側からの車両が多いため、渋滞の心配は、ないのではないか。 ・さとらんどには高い建物はなく、事業実施区域を見通せないことから、眺望の面でも影響はないと思われる。

表 9-12-6 人と自然との触れ合い活動の場の状況(サッポロさとらんど) (2/2)

名称	サッポロさとらんど
	
ふれあい牧場で楽しむ家族連れ(5月)	「風のはらっぱ」で楽しむ風景(8月)
	
施設内を楽しむ風景(10月)	そり遊びを楽しむ風景(2月)

表 9-12-7 年度別来園者数の変化(サッポロさとらんど)

(単位:万人)

年度	入園者数
H8年度	45
H9年度	42
H10年度	45
H11年度	36
H12年度	35
H13年度	36
H14年度	46
H15年度	36
H16年度	26
H17年度	48
H18年度	73
H19年度	87
H20年度	53
H21年度	57
H22年度	59
H23年度	65
H24年度	65

※H17年度からH19年度は「さっぽろ雪まつり」来場者を含む。

表 9-12-8 月別来園者数(サッポロさとらんど)

(単位:人)

月	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
4	2,490	31,280	63,030	5,390
5	169,030	95,310	87,490	81,930
6	88,990	99,640	84,290	125,800
7	62,730	105,990	96,780	87,390
8	80,040	121,700	120,320	102,980
9	115,370	110,560	123,800	176,760
10	57,190	53,690	51,530	64,350
11	4,420	11,010	3,000	8,270
12	1,720	2,220	2,720	1,750
1	3,970	8,520	11,200	
2	3,040	5,430	7,710	
3	970	1,660	1,350	
計	589,960	647,010	653,220	
備考				

※平成25年8月のヒアリング調査以降、最新データを入手。

4. 予測手法

(1) 予測地域

予測地域の範囲は、調査の範囲と同地域とした。

(2) 予測時期

予測時期は、造成等の施工による環境影響が最大になる時期、及び最終処分場の存在(供用)後定常状態になる時期とした。

(3) 予測方法

造成等の施工及び最終処分場の存在による、人と自然との触れ合い活動の場、利用環境及びアクセスルートについて予測した。

人と自然との触れ合い活動の場は、その改変の有無及びその程度について、事業実施区域との重ね合わせにより予測した。

利用環境は、人と自然との触れ合い活動の場の利用の支障の有無及び支障が生じる箇所等について、事業実施区域との重ね合わせにより予測した。

アクセスルートは、人と自然との触れ合い活動の場への到達時間及び距離の変化について、事業実施区域と近傍の既存道路との重ね合わせにより予測した。

5. 予測結果

人と自然との触れ合い活動の場の予測結果は、表 9-12-6～表 9-12-7 に示すとおりである。

表 9-12-6 人と自然との触れ合い活動の場の予測結果(モエレ沼公園)

名称		モエレ沼公園	
影響 予測	人と自然との 触れ合い活動 の場	造成等の施工	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設は、事業実施区域から約 2km 離れており、当該事業によって直接改変されることはない。 ・以上のことから、<u>造成等の施工による本施設への影響はないと予測される。</u>
		最終処分場の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設は、事業実施区域から約 2km 離れており、当該事業によって直接改変されることはない。 ・以上のことから、<u>最終処分場の存在による本施設への影響はないと予測される。</u>
	利用環境	造成等の施工	<ul style="list-style-type: none"> ・大気質、騒音、振動については、いずれも造成等の施工による周辺環境への影響は軽微であると予測されている(「第 1 節 大気質」、「第 2 節 騒音」、「第 3 節 振動」参照)。 ・本施設には主要な眺望点が 3 地点(モエレ山山頂、プレイマウンテン山頂、ガラスのピラミッド屋上展望台)あるが、埋立地は住宅地や樹林地、遠方の丘陵地からなるスカイラインを遮ることはない。また、埋立地は周辺の樹林地に紛れており、事業実施区域の方向の眺望景観に与える変化はわずかであり、影響は極めて小さいと予測されている(「第 11 節 景観」参照)。 ・以上のことから、<u>造成等の施工による利用環境への影響は極めて小さいと予測される。</u>
		最終処分場の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・大気質、騒音、振動については、いずれも最終処分場の存在による周辺環境への影響は軽微であると予測されている(「第 1 節 大気質」、「第 2 節 騒音」、「第 3 節 振動」参照)。 ・悪臭については、事業実施区域およびその周辺は、夏季は南東～東南東の風が多く、冬季は北西の風が多く、通年でも北からの風はほとんどない(「第 4 節 悪臭」参照)。 ・本施設には主要な眺望点が 3 地点(モエレ山山頂、プレイマウンテン山頂、ガラスのピラミッド屋上展望台)あるが、埋立地は住宅地や樹林地、遠方の丘陵地からなるスカイラインを遮ることはない。また、埋立地は周辺の樹林地に紛れており、事業実施区域の方向の眺望景観に与える変化はわずかであり、影響は極めて小さいと予測されている(「第 11 節 景観」参照)。 ・以上のことから、<u>最終処分場の存在による利用環境への影響は極めて小さいと予測される。</u>
	アクセスルート	造成等の施工	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設へのアクセスルートは、当該事業によって直接改変されることはない。 ・本施設の利用は、休工の日曜日に多く、工事車両の通過による混雑の影響は大きくないと予測される。 ・以上のことから、<u>造成等の施工によるアクセスルートへの影響はないと予測される。</u>
		最終処分場の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設へのアクセスルートは、当該事業によって直接改変されることはない。 ・以上のことから、<u>最終処分場の存在によるアクセスルートへの影響はないと予測される。</u>

表 9-12-7 人と自然との触れ合い活動の場の予測結果(サッポロさとらんど)

名称		サッポロさとらんど	
影響 予測	人と自然との 触れ合い活動 の場	造成等の施工	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設は、事業実施区域から約 3km 離れており、当該事業によって直接改変されることはない。 ・以上のことから、<u>造成等の施工による本施設への影響はないと予測される。</u>
		最終処分場の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設は、事業実施区域から約 3km 離れており、当該事業によって直接改変されることはない。 ・以上のことから、<u>最終処分場の存在による本施設への影響はないと予測される。</u>
	利用環境	造成等の施工	<ul style="list-style-type: none"> ・大気質、騒音、振動については、いずれも造成等の施工による周辺環境への影響は軽微であると予測されている(「第1節 大気質」、「第2節 騒音」、「第3節 振動」参照)。 ・以上のことから、<u>造成等の施工による利用環境への影響は極めて小さいと予測される。</u>
		最終処分場の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・大気質、騒音、振動については、いずれも最終処分場の存在による周辺環境への影響は軽微であると予測されている(「第1節 大気質」、「第2節 騒音」、「第3節 振動」参照)。 ・悪臭については、事業実施区域およびその周辺は、夏季は南東～東南東の風が多く、冬季は北西の風が多く、通年でも北～北北東の風はほとんどない(「第4節 悪臭」参照)。 ・以上のことから、<u>最終処分場の存在による利用環境への影響は極めて小さいと予測される。</u>
	アクセスルート	造成等の施工	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設へのアクセスルートは、当該事業によって直接改変されることはない。 ・本施設の利用は、休工の日曜日に多く、工事車両の通過による混雑の影響は大きくないと予測される。 ・以上のことから、<u>造成等の施工によるアクセスルートへの影響はないと予測される。</u>
		最終処分場の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設へのアクセスルートは、当該事業によって直接改変されることはない。 ・以上のことから、<u>最終処分場の存在によるアクセスルートへの影響はないと予測される。</u>

6. 環境保全措置

概況把握区域における人と自然との触れ合い活動の場であるモエレ沼公園及びサッポロさとらんどは、いずれも事業実施区域外にあり、当該事業によって直接改変されることはなく、その利用環境やアクセスルートへの影響はない、あるいは極めて小さいと予測された。

以上のことから、人と自然との触れ合い活動の場については、環境保全措置は講じないものとする。

7. 事後調査

予測は、事業実施による改変範囲と人と自然との触れ合い活動の場の分布状況との重ね合わせのほか、大気質、騒音、振動、悪臭の予測及び景観の予測の結果に基づいて行っていることから、予測の不確実性は小さいと考えられる。

以上のことから、人と自然との触れ合い活動の場については、事後調査は実施しないものとする。

8. 評価

概況把握区域における人と自然との触れ合い活動の場は、事業実施区域外にあり、当該事業によって直接改変されることはなく、その利用環境やアクセスルートへの影響は極めて小さいと評価する。